

岡山県 No.1 インターンシップ・プログラムを目指して

D-INTERNSHIP 実行委員会

活動の目的

岡山県 No.1 インターンシップ・プログラムとしてのブラッシュアップと、県内すべての大学からの乗り入れと活動に見合う単位化。

活動の内容及び経過

毎年、印刷して配布する募集要綱に、事前研修・中間研修・直前研修・成果発表のインターンシップ・プログラムの内容をテキスト化して掲載した。これにより、募集要綱を見た人が、どのような内容の研修か理解できるようにした。また、A3のポスターも作成し、各大学へ掲示を行った。

本年度は31名の応募があったが、内容を熟知せず応募した学生12名がキャンセル。最終的に19名が参加し、19名が研修を修了した。

活動の成果・効果

2018年度から学生と企業が情報を共有するために取り組んだ worksheet をよりシステム化した。

企業研修では記入式の worksheet を埋めることで企業と共有すべき情報、目標設定の定量化、協働プログラムへの戦略的視点などの徹底が可能になり、PDCA 実践への準備の精度が上がった。結果、「龍の仕事展2019」を活用した PDCA 実践では、過去最高の来訪者数20,371人を迎え、学生たちが売り上げた金額としては過去最高。企業ブースの過去最高74万円を売り上げるなどの成果を上げた。

また、龍の仕事展10周年を記念して、吉備国際大学外国語学科の力を借りて、英語版の「吉備再発見」Discovery KIBI を発行し、会場で外国人の来訪者に配布した。

今後の課題と問題点

アンケートによる満足度も過去最高であった。過去に比べ中でも企業研修が充実していたこともうかがえた。また「職業選択の参考になった」という回答も高く、参加した企業のような職場へも学生の就職での選択肢が広がり、定住促進へも貢献できた。

学生が上げたブースでの売上実績などを基に、再度、学生たちとの良好な取り組みにより成果が上がってきている旨を企業へ伝え、学生を受け入れてくれる企業を増やす活動を行う。

全体を通して本年度は研修会場の確保が課題となった。2019年度の参加大学の実行委員とコンソーシアム岡山の乗り入れ授業を目標に、来年度取り組む事を協議し、大学の施設で事前研修・中間研修・直前研修を行うこととした。



- 代表者：小山悦司 ●所在地：倉敷市美和
- TEL：086-431-0781 ●E-MAIL：botta@project-g7.com
- URL：http://project-g7.com/wordpress/
- 設立年：2018年 ●メンバー数：16名